

平成30年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和元年（2019年）6月18日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市青年センター 函館市千代台町27番5号																																														
設置条例	函館市青年センター条例																																														
指定管理者名	函館市青年サークル協議会グループ	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日までの5年間																																												
指定管理者の 特別な要件		選定 区分	公募 非公募																																												
設置目的	青少年の教養の向上、健康の増進ならびに情操の純化をはかるため																																														
設置年月	昭和44年5月	建設費	92,500千円																																												
構造規模等	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建 1階面積：1,202.67㎡、2階面積：583.53㎡、延床面積：1,786.20㎡ 共用部分：体育館/第1クラブ室/第2クラブ室/会議室/和室/音楽視聴覚室/調理実習室/ /相談室/便所（1、2階）/ロビー（1階）/談話ホール（1、2階） 非共用部分：事務室、管理人室																																														
開館時間 休館日等	開館時間：午前9時～午後10時 休館日：水曜日、年末年始（12/31～1/3）																																														
料金体系	ア 利用料金制 ☐有 ☒無 イ 基本使用料 <table><thead><tr><th>区 分</th><th>午前</th><th>午後</th><th>夜間</th></tr></thead><tbody><tr><td>体育館</td><td>各2,500円</td><td>(1,750円)</td><td>5,000円 (2,000円)</td></tr><tr><td>第1クラブ室</td><td>各700円</td><td>(120円)</td><td>1,000円 (140円)</td></tr><tr><td>第2クラブ室</td><td>各400円</td><td>(70円)</td><td>500円 (80円)</td></tr><tr><td>会議室</td><td>各800円</td><td>(150円)</td><td>1,300円 (170円)</td></tr><tr><td>和室</td><td>各600円</td><td>(110円)</td><td>900円 (120円)</td></tr><tr><td>音楽視聴覚室</td><td>各300円</td><td>(60円)</td><td>500円 (60円)</td></tr><tr><td>調理実習室</td><td>各1,500円</td><td>(110円)</td><td>2,000円 (120円)</td></tr></tbody></table> ※暖房を使用したときは（ ）内の額を加算 備付物件使用料 <table><thead><tr><th>区 分</th><th>午前</th><th>午後</th><th>夜間</th></tr></thead><tbody><tr><td>拡声装置</td><td colspan="3">各1,000円</td></tr><tr><td>ピアノ</td><td colspan="3">各1,000円</td></tr></tbody></table>			区 分	午前	午後	夜間	体育館	各2,500円	(1,750円)	5,000円 (2,000円)	第1クラブ室	各700円	(120円)	1,000円 (140円)	第2クラブ室	各400円	(70円)	500円 (80円)	会議室	各800円	(150円)	1,300円 (170円)	和室	各600円	(110円)	900円 (120円)	音楽視聴覚室	各300円	(60円)	500円 (60円)	調理実習室	各1,500円	(110円)	2,000円 (120円)	区 分	午前	午後	夜間	拡声装置	各1,000円			ピアノ	各1,000円		
区 分	午前	午後	夜間																																												
体育館	各2,500円	(1,750円)	5,000円 (2,000円)																																												
第1クラブ室	各700円	(120円)	1,000円 (140円)																																												
第2クラブ室	各400円	(70円)	500円 (80円)																																												
会議室	各800円	(150円)	1,300円 (170円)																																												
和室	各600円	(110円)	900円 (120円)																																												
音楽視聴覚室	各300円	(60円)	500円 (60円)																																												
調理実習室	各1,500円	(110円)	2,000円 (120円)																																												
区 分	午前	午後	夜間																																												
拡声装置	各1,000円																																														
ピアノ	各1,000円																																														

1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況

(1)管理業務

ア 事業の実施に関すること

(ア) 教養講座の実施に関すること

事業名	内容等
教養講座	20講座（物づくり、健康、教養、料理など）

(イ) 育成・相談事業に関すること

事業名	内容等
青年サポートデスクPlus	ロビーに設置している勉強スペースを活用し、職業・交友・健康・サークル運営等について、先進他都市の各種の青年情報、活動情報などの情報提供を行うなど、青少年向けの相談窓口を開設。
青年ライブラリー	書籍の貸し出し
「ゆうすかわらばん」の発行	広報誌2回発行（春夏号、秋冬号）
活動サークル紹介パンフレットの配布	サークルの紹介とサークル員の募集

(ウ) 余暇活動に必要な施設、設備の提供および指導に関すること

事業名	内容等
七夕イベント（7/7）	七夕の風習であるお菓子配りを行い、近隣住民との交流を図った。
青年センターフェスティバル2018（9/2）	各サークルの日頃の成果発表と相互交流を目的として、ステージ発表やサークル活動展示等を実施した。
はこだてカルチャーナイト2018（9/28）	胆振東部地震による停電の影響で、イベント自体が中止となった。
青年戦隊クリーンレンジャー（9/30）	地域貢献と団体交流を目的として、ボランティア清掃を行う予定であったが、雨天のため交流会のみ実施した。
第14回地球まつり（10/20）	国際交流団体の活動や各国の文化の周知および体験を目的として実施した。
クリスマスライブ（12/9）	センターを利用しているサークルに発表の場を提供し、活動内容のPRを実施するとともに、フラワーアレンジメントサークルによるハーバリウム体験会も同時開催した。
初笑い！新春落語会（1/14）	函館在住の落語家と講師を招き、生の話芸に触れる機会を提供した。
第8回ミニ四駆競技大会（3/24）	モーターで動く小型自動車模型「ミニ四駆」の速さを競う大会を実施した。
青年団体交流スポーツ大会（3/31）	アメリカンドッジボールの大会を通して青年サークルの交流を行った。

(エ) 若者の居場所づくりに関すること

①開催状況（勉強スペース応援DAY）

区分	平成29年度	平成30年度
開催日数	53日	51日
来場者数	779人	585人
平均来場者数	14.7人	11.5人

※勉強スペース応援DAYの特別編として、かき氷等を作って配付し、高校生との交流を深めた。

②調査報告

- ・高校生へのヒアリングおよびアンケートを行った。
- ・高校生の大学生受験シーズンに合わせて合格祈願のメッセージを書き込めるように巨大絵馬を設置。
12月15日～2月3日まで設置し、2月4日に奉納した。
- ・アンケートにあった要望に応え、閲覧用参考書2冊を購入した。
- ・モバイルバッテリー貸出（6件）

③その他若者支援

事 業 名	内 容 等
小中学生のためのプログラミング教室	プログラミング上級者の小学生に対し、公立はこだて未来大学の学生が指導を行う。（計4回実施、延べ22名参加。）

イ 利用の許可および制限に関すること

ウ 維持管理に関すること

- ・特別清掃（随時）
- ・自動扉保守点検（年2回）
- ・消防用設備保守点検（年2回）
- ・防火対象物定期点検（年1回） ※防火優良認定更新
- ・ピアノ点検（年1回）
- ・修繕等（随時）
- ・ガス暖房機の運転業務（随時）
- ・ウォータークーラー点検（月1回） ※浄水器設置のため12月より実施せず
- ・ストープ分解清掃（2年毎）

エ その他教育委員会が定める業務

(2)委託業務（使用料の収納に関すること）

※4(4)参照

(3)自主事業

- ・コピーサービス
- ・ラミネートサービス
- ・音響機材貸出
- ・プロジェクター貸出
- ・広告収入

2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績

- ・箱館五稜郭祭のお弁当配布、休憩場所としてロビー、トイレを開放（5月）
- ・市立函館高校「柳星祭」のためトイレ開放（7月）
- ・中部高校生徒会に学園祭で使用するためのパーテーションを貸出（7月）
- ・大門合同学生祭実行委員会に机と焼き台を貸出（7月）

- ・函館港まつり「ワッショイはこだて」トイレ開放（8月）
- ・はこだて国際科学祭スタッフ交流会ロビーにて開催（8月）
- ・YOSAKOI南北海道大会のためのテント，テーブル，イスの貸出（8月）
- ・青年団体の舞台公演のため照明機材の貸出（8月）
- ・未来大祭（未来大学）用に机，イスの貸出（10月）
- ・YOSAKOIソーラン道南大会写真展の会場としてロビーを提供（10月）
- ・函館市社会福祉協議会にパーティション貸出（12月）
- ・自立支援センター茜より就労支援1名受け入れ（12月～）
- ・青年団体公演チケット取扱い（3月）

3 市民ニーズの把握の実施状況

- ・意見箱で9件、窓口対応で3件の意見あり
- ・利用者しんぼく会の実施（H30.6.25）参加団体数10団体25名

4 施設の利用状況

(1) 平成30年度の月別利用者数

(単位：人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
主催事業	298	281	348	384	353	1,315	728	332	419	335	270	326	5,389
優先利用	1,073	1,398	1,104	1,057	913	664	1,089	1,123	1,234	876	887	1,348	12,766
一般利用	3,557	3,601	3,875	3,767	5,238	3,152	3,407	3,817	3,029	2,692	3,230	3,229	42,594
合計	4,928	5,280	5,327	5,208	6,504	5,131	5,224	5,272	4,682	3,903	4,387	4,903	60,749

※ 優先利用は青年団体の貸館利用、一般利用は一般団体の貸館利用

(2) 平成30年度施設別稼働率

(単位：%)

区分	体育館	第1ｸﾞﾗﾝﾄﾞ室	第2ｸﾞﾗﾝﾄﾞ室	会議室	和室	音楽視聴覚室	調理実習室
稼働率	83.6	80.9	61.1	77.6	36.6	72.2	23.2

(3) 平成30年度備付物件使用件数

拡声装置	ピアノ
85	187

(4) 年度別利用者数

→ 前 期 指 定 期 間 ←

(単位：人)

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
主催事業	4,523	4,730	5,134	4,645	5,389
優先利用	14,611	13,357	15,115	12,815	12,766
一般利用	43,342	43,786	49,551	46,435	42,594
合計	62,476	61,873	69,800	63,895	60,749
使用料収入	3,389,200	3,387,730	3,207,050	2,948,730	2,779,450

※前期指定期間：函館市青年サークル協議会（現指定管理者）

5 指定管理者の収支状況

		→ 前 期 指 定 期 間 ←		(単位：円)	
区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
収 入	委託料	39,693,600	39,693,600	41,775,381	41,775,381
	講座収入	1,401,944	1,868,890	1,774,500	1,974,780
	イベント等開催事業収入	53,055	68,240	47,300	60,000
	自主事業収入	567,872	480,446	163,619	118,597
	預金利息	1,806	108	96	91
	その他	158,544	610,350	800	0
	前年度繰越金	0	1,849,005	0	1,335,945
	計	41,876,821	44,570,639	43,761,696	45,264,794
支 出	人件費	20,301,574	20,265,448	21,702,030	22,707,999
	燃料費	1,906,547	1,826,267	2,136,606	2,275,021
	水道光熱費	2,868,985	2,643,851	2,055,425	1,937,951
	清掃	3,679,920	3,679,917	4,298,316	4,298,312
	委託料	1,373,080	1,470,765	1,574,453	1,601,188
	消耗品費	570,599	509,299	999,904	1,211,595
	印刷製本費	37,000	48,290	25,920	40,468
	修繕費	958,128	5,842,034	1,134,606	2,826,305
	保険料	14,570	0	8,020	13,420
	備品購入費	1,533,651	950,939	1,671,154	1,967,971
	通信運搬費	253,764	227,528	252,047	263,965
	手数料	40,657	40,490	133,855	148,390
	使用料及び賃借料	404,515	486,393	402,186	411,132
	事業費	1,426,581	1,690,889	2,061,936	2,503,098
	その他諸経費	1,560,653	1,728,094	2,685,095	1,668,605
	消費税	3,097,592	3,160,435	1,284,198	1,369,548
	計	40,027,816	44,570,639	42,425,751	45,244,968
当該施設の利用者一人当たり 税金投入コスト		587	523	608	642

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実施調査の実施 有

各種報告書の提出

- ・管理業務月次報告書
- ・管理業務四半期収支報告書
- ・事業報告書（管理業務、収支）

7 指定管理者に対する評価

(1) 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	利用率の低い調理実習室を有効利用するため、昨年度に引き続き料理系講座を新規展開している。 団体活動の育成への取り組みとして、アメリカンドッジボールの普及を目的とした団体の登録があったことから、青年サークルスポーツ交流会において同競技を採用し、団体活動の一助となるよう努めた。 従業員に対しては、就業規則・賃金規程に則り、給与・交通費の支払いなどを厳密に行っている。	昨年度と比較して利用率、利用者数共に減少した。その要因として人口減少や少子高齢化が考えられ、現に一般団体が高齢化により活動継続を断念するケースが相次いでいる。また、団体構成員数の減少や、集客が見込めるイベントが別会場での開催になったことも挙げられる。 今後は利用率向上のため、備品の充実・既存団体へのサービス向上・各種SNSを用いた積極的な空き状況の情報発信などを行っていく。また、リーフレットのデザインリニューアルを進めている。さらに、教養講座で好評を得ている料理系講座を継続して開催し、利用率向上に努めていく。
サービスの 質の状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	スタッフの資質向上のため、専門家を招いてクレームの対応や相談の仕方など、日常業務に直結するような内容の研修を取り入れている。 利用者に対しては、ご意見箱を受付からは見えない場所に3箇所設置することで、利用者が率直な意見を書きやすいようにしている。 また、環境配慮の観点では、施設のLED化工事を実施し、電力削減の効果を上げている。 さらに、就労支援プログラムからの人員受け入れや、障がい者の就労支援をするNPOに古紙・缶の回収を依頼するなど福祉対策にも取り組んでいる。	平成30年12月～平成31年2月まで、自立支援センター茜の就労支援プログラムから男性一人を受け入れた。このプログラムからは実際に就労につなげた実績があるため、今回も福祉活動の一環として前向きに取り組みたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	—	特になし

(2) 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	協定書を遵守し、事業計画書または仕様書の水準どおりに行われていた。 特に、施設に設置している掲示版やHPで予約状況を確認できるようにし、利便性の向上を図っている。 また、北海道胆振東部地震を受けて防災物品を購入しており、災害時への備えを整えている。	昨年度と比較し利用率が低下しており、和室および調理室の稼働率も低迷している。 そのうち、調理実習室については料理系の教養講座を開催することで有効活用を図っており、毎回定員を満すなど参加者から好評を得ている。今後とも各種講座を開催するなどして利用率・稼働率の向上に努めていただきたい。
サービスの 質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	意見箱の設置や利用者しんぽく会の開催などを通して、利用者ニーズの把握に努めている。 ホームページにあるスタッフブログを毎日更新しているほか、フェイスブックやツイッター、広報誌などを広く活用し、情報発信を行っている。	資質向上のために取り組んでいる各種研修会への参加や、利用者への情報発信などを継続していただき、市民サービスの向上に努めていただきたい。 また、資源回収や実習生の受け入れなどを通して、今後とも福祉対策に取り組んでいただきたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	事業収支、経営状況はともに、概ね適正である。	今後においても、適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。

◎「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。